

微生物由来の6-ホスホグルコン酸脱水素酵素

Cat. No. NATE-1937

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 酵素学において、ホスホグルコン酸脱水素酵素 (脱炭酸化) (EC 1.1.1.44) は、次の化学反

□を触媒する酵素です: 6-ホスホ-D-グルコン酸 + NADP+ \leftrightarrow D-リブロース 5-リン酸 + CO2 + NADPH。したがって、この酵素の2つの基質は6-ホスホ-D-グルコン酸とNADP+であり、3 つの生成物はD-リブロース 5-リン酸、CO2、およびNADPHです。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD+またはNADP+を受容体とする供与体のCH-OH基に作用するも

のです。

別名 6-ホスホグルコン酸脱水素酵素; ホスホグルコン酸脱水素酵素; 6-ホスホグルコン酸脱水素酵

素; 6-ホスホグルコン酸カルボキシラーゼ; 6-ホスホグルコン酸脱水素酵素(脱炭酸); 6-ホスホーカーグルコン酸脱水素酵素; EC 1.1.1.44; ホスホグルコン酸脱水素酵素; 脱炭酸; 9073-95-4

製品情報

由来 微生物

形態 凍結乾燥された

EC番号 EC 1.1.1.44

分子量 約132,000

活性 >40 U/mg タンパク質

混入物 (6PGDH活性 = 100 %) グルコキナーゼ < 0.01 % ホスホグルコムターゼ < 0.01 % ヘキ

ソース-6-リン酸イソメラーゼ < 0.01 % グルタチオン還元酵素 < 0.01 %

等電点 約4.5

pH安定性 5.0 - 10.0

最適pH 7.0 - 7.5

熱安定性 (50 mM MES-NaOHバッファー、pH 6.8、0.5 M KClを含む) 40 °Cまでの間、活性の□出

可能な減少はありません。

ミカエリス定数 (80 mM グリシルグリシンバッファ─、pH 7.5、30 °Cにて) 6-ホスホ-D-グルコン酸、

0.95 mM NAD+ > 0.32 mM

活性化因子 Mg2+, Mn2+, Ca2+, K+, Na+

阻害剤 フルクトース 1,6-ビスリン酸、エリトロース 4-リン酸、NADH

安定化剤 KCI、MgCl2、ソルビトール、BSA

単位定義 1単位の活性は、 30° Cで1分間に 1μ molのNADHを生成する6PGDHの量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 -20 °Cで少なくとも6ヶ月間安定しています